

平成 21 年 2 月 27 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が一段と低下し、個人消費が低調で、観光関連が盛り上がりを欠くなど、全体では、悪化している。

生産活動は、電子部品関連が低調で、食料品関連も伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額や新車（乗用車・軽自動車）販売台数が前年を下回った。投資関連では、公共工事が前年を上回ったものの、民間建築工事や住宅着工が前年を下回り、全体では低調。その間、観光入り込み客数は鹿児島地区を除き、前年を下回った。

【生産活動】 ... 一段と低下

電子部品関連は、IC 生産やカラーLCD（液晶ディスプレイ）が需要の低迷により、低調に推移している。

1月の**生コン**生産は、公共工事向け、民間工事向けともに前年を下回った。

1月の**紙パルプ**生産は、生産調整により前年比 38.8% 減と前年を大きく下回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

1月の**大島紬**生産は、前年比 19.4% 減となり、減反基調に変化はない。

焼酎の生産および出荷は、ともに高水準で推移しているものの、一頃の勢いはみられない。

12月の**かつお節**生産は、原料かつおの水揚げ量の減少や需要の伸び悩みにより、5か月連続で前年を下回った。

【畜産関連】 ... 伸び悩み

肉用牛（和牛）の枝肉相場は需要の低迷から前年を下回り、子牛価格も前年を下回っている。豚肉相場は供給増により、前年を下回る水準で推移している。ブロイラー相場、鶏卵相場も前年を下回っている。

【消費関連】 ... 低調

12月の百貨店売上げは、衣料品が引き続き低調で、食料品もお歳暮売上が伸び悩み、前年比8.3%減となった。12月のスーパー売上げは、食料品は前年並みとなったが、衣料品が低調で、3.9%減と前年を下回った。なお、大型小売店（百貨店+スーパー）販売は、5か月連続で前年割れとなった。

1月の乗用車新車販売台数は、25.3%減と6か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は33.0%減、小型車は20.3%減といずれも前年を大幅に下回った。また、軽自動車も11.0%減と前年を下回った。

【観光関連】 ... 盛り上がりを欠く

1月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比0.6%増のほぼ横ばいとなった。大河ドラマ「篤姫」放映が終了し、ブームが沈静化したことと、世界同時不況の影響を受け伸び悩んだ。地区別では、鹿児島地区のみ、大型学会の開催効果で前年を大きく上回った。また、種子島・屋久島地区も、世界遺産のブーム再燃効果が薄れてきたこともあって、前年を大きく下回った。この間の主要観光施設入場者数は、鹿児島市内を除き伸び悩んだ。

【投資関連】 ... 低調

1月の**公共工事**は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

12月の**民間建築工事**は、棟数、床面積、工事費予定額の全てにおいて前年を下回った。

12月の**新設住宅着工戸数**は、持家、貸家、分譲がいずれも前年を下回り、前年比48.4%の大幅減となった。

1月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 減少

12月の**輸出額**は、半導体等電子部品や液晶標示板等の科学光学機器などが前年を下回ったこと等により、全体では34.4%減と2か月連続で前年を下回った。**輸入**は、穀物及び同調整品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年を下回ったことから、全体では前年比48.7%減と2か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 ... 悪化

12月の有効求人倍率は、前月を0.03ポイント下回る0.43倍となり、雇用情勢は悪化している。

【金融情勢】 ... 伸び悩み

資金需要は、企業の設備資金が伸び悩んでいる。

【企業倒産】 ... 件数が増加

1月の**企業倒産**は、件数が10件と前年同期(8件)を上回った。一方、負債額は21億8,900万円と前年(97億4,900万円)を下回ったものの、前年の大型倒産発生の反動減にすぎず、厳しい情勢に変化はない。

以上

【本件に関するお問い合わせ】(株)鹿児島地域経済研究所 (099-225-7491)